

岩倉市日本語適応指導教室 学習指導案

第2時限 日本語教室 指導者

1 6月の指導内容 6ユニット (24モジュール)

- | | | |
|-------------|---|--------|
| (1) 日本語能力試験 | 言語知識 (文字・語彙・文法)、聴解、読解 (N4・5レベルの指導)『A・B ステップ』 | 6モジュール |
| (2) 国語 | 漢字の成り立ち [A 現学年]・かん字の話 [B ステップ]、敬語 [A 現学年] [B ステップ(小3)]、
短歌と俳句 [A ステップ(小4)] [B 現学年] | 5モジュール |
| (3) 算数 | 一億をこえる数 [A ステップ(小4)] [B 現学年]、垂直・平行と四角形 [A ステップ(小4)] [B 現学年] | 5モジュール |
| (4) 学習用具 | 授業で使う用語 (体育、音楽) [A・B ステップ] | 4モジュール |
| (5) 日本語 | 語彙 日本の文化・行事、野菜、食べもの・飲みもの、スポーツ [A・B ステップ] | 4モジュール |

2 日本語指導 学習計画 初期 (ステップ1【S1】) 本時前後5ユニット

A	5月25日	6月1日	本時の指導	6月8日	6月15日
ア	国語 反対の意味のことは『ス』 3/3	国語 漢字の成り立ち [現] 1/5	算数 一億をこえる数『ス』 1/5	日本語 語彙 野菜 3/6	国語 敬語 [現] 3/5
イ	図工 学習用具『ス』 2/2	日本語 語彙 くだもの 1/6	国語 敬語 [現] 2/5	算数 一億をこえる数『ス』 2/5	算数 垂直・平行と四角形『ス』 3/5
ウ	算数 小数÷小数 [現] 3/3	体育 学習用具『ス』 1/4	日本語 語彙 日本の文化・行事 2/6	音楽 学習用具『ス』 2/4	日本語 語彙 食べもの・飲みもの 4/6
エ	日本語 日本語能力試験(文法) 3/3	日本語 日本語能力試験(読解) 1/6	日本語 日本語能力試験(文字・語彙) 2/6	日本語 日本語能力試験(読解) 3/6	日本語 日本語能力試験(文法) 4/6

B	5月25日	6月1日	本時の指導	6月8日	6月15日
ア	国語 反対の意味のことは『ス』 3/3	国語 かん字の話『ス』 1/5	算数 一億をこえる数 [現] 1/5	日本語 語彙 野菜 3/6	国語 ていねいな言い方『ス』 3/5
イ	図工 学習用具『ス』 2/2	日本語 語彙 くだもの 1/6	国語 ていねいな言い方『ス』 2/5	算数 一億をこえる数 [現] 2/5	算数 垂直・平行と四角形 [現] 3/5
ウ	算数 小数『ス』 3/3	体育 学習用具『ス』 1/4	日本語 語彙 日本の文化・行事 2/6	音楽 学習用具『ス』 2/4	日本語 語彙 食べもの・飲みもの 4/6
エ	日本語 日本語能力試験(文法) 3/3	日本語 日本語能力試験(読解) 1/6	日本語 日本語能力試験(文字・語彙) 2/6	日本語 日本語能力試験(読解) 3/6	日本語 日本語能力試験(文法) 4/6

3 日本語の習得状況及び課題 (H27.5 現在)

学年・国籍	A (5年生)・パキスタン	B (4年生)・日本・ニュージーランド
	ステップ1	ステップ1
習得状況 来日時期	Aは来日して5ヶ月。ほとんど日本語を理解できない状況であったが、簡単な日本語を使って自分の気持ちを表現できるようになってきた。 Bは来日して1ヶ月半。母親が日本人で日本国籍であるが、ニュージーランドで生まれ育ち、現地の学校へ通っていたので、簡単な日常会話程度の日本語力である。	
課題	- 語彙量を増やし、正しい日本語文法、文型の練習をすること。 - 学習用具の名前を覚え、教科用語の意味を理解すること。 - 日本の文化や習慣、生活などに触れること。	

4 本時の指導

(1) 目標

- | | |
|------------------------------------|---------|
| ア 億や兆をこえる数の表し方や仕組みを知り、数をよむことができる。 | (算数) |
| イ 相手や目的に応じた正しい言葉遣いができる。 | (国語) |
| ウ 日本の伝統的な遊びや行事を知り、日本の文化に触れることができる。 | (生活・文化) |
| エ 日本語能力N5レベルの文字・語彙、文法を身に付けることができる。 | (言語知識) |

(2) 用意するもの 教師－提示用資料、ワークシート、プロジェクター

(3) 指導語彙・表現

- | | | |
|-------|---------------------------------------|----|
| ア 算数 | ----- 千 万 億 兆 位 右から順に4けたに区切る | など |
| イ 国語 | ----- ～です ～ます いらっしゃいます うかがいます | など |
| ウ 日本語 | 文化・行事 ----- こま ビーだま さいころ しゃぼんだま けんだま | など |
| エ 日本語 | 文字・語彙・文法 ----- すずしい たかくて しめて 会社 読む 午後 | など |

(4) 板書計画

ア 算数 一億をこえる数 <table border="1"> <tr> <td>万</td><td>せん</td><td>ひゃく</td><td>じゅう</td><td>いち</td> </tr> <tr> <td>億</td><td>く</td><td>う</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>兆</td><td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>一</td> </tr> </table> ① 一のくらの数字は何ですか。 5 ② 千のくらの数字は何ですか。 3 ③ 十万のくらの数字は何ですか。 9 ④ 十億のくらの数字は何ですか。 2	万	せん	ひゃく	じゅう	いち	億	く	う			兆	千	百	十	一	イ 国語 敬語・ていねいな言い方 - 先生に旅行のおみやげをやる。 →さしあげる - となりの家からりんごをもらった。 →いただいた - 先生の言うことは正しい。 →おっしゃる - あなたも行くのですか。 →いらっしゃる - ぼくの父は、四十才だ。 →四十才です 宿題をわすれてごめん ごめんなさい ごめんください	ウ 日本語 文化・行事 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>													エ 日本語能力試験 文字・語彙 ① その「ア」が () の「イ」。 1 あけて 2 しめて 3 おして 4 ひいて ② わたしの「イ」は、あの () しい たてものです。 1 まかくて 2 くらくて 3 たかくて 4 ひくくて ③ いえから 会社まで じてんしゃで 10分です。 1 こうえん 2 ぎんこう 3 かいしゃ 4 こうばん
万	せん	ひゃく	じゅう	いち																										
億	く	う																												
兆	千	百	十	一																										

(5) 学習過程

児 童 の 活 動 ・ 教 師 の 支 援	
算数 一億をこえる数 (10分)	1 一億をこえる数をよむ。(A・B) (1) 億や兆ということばを知る。 千までの位を表すことばを確認してから、万、億、兆を提示し、位を表すことばの漢字を正しい書き順でかけるようにする。 (2) 大きな数をよむ。 一億をこえる数を十進法位取り記数法の表に照らし合わせ、右から順に4つずつに分けて読むようにする。 (3) 漢数字で表してある大きな数をよむ。 漢数字を読む練習をしながら、位を表す漢字に着目して、一億をこえる数をよみ、よんだ数をかく練習を取り入れる。
国語 敬語 (15分)	3 時と場や相手に応じた話し方を知る。(A・B) (1) ていねいな言い方を知る。 相手や目的に応じて、適切な言葉遣いがあることを伝える。 (2) 常体の文末を敬体に言い換える。 敬語には、丁寧語だけでなく、尊敬語や謙譲語があり、具体例を示しながらこれらの使い方を伝える。(A) ていねいな言い方をする時は、文の終わりに、「です」「ます」をつけて話すことを伝える。(B) 学年の指導目標にあわせた語彙を左右に分けて、プロジェクターで同時に提示し、個々の学年に応じた指導を効率よくできるような配慮をする。 (3) インタビューをする。 学習した尊敬語や謙譲語を使って、インタビューをするように助言する。(A) 相手を見て、ゆっくり、自信をもって話すように助言する。(B) 日常生活で使い慣れていないことばであり、現段階の日本語能力では、難しい表現なので、言い間違いや言い方がわからないときは支援する。
日本語 文化行事 (10分)	3 日本の伝統的な文化や行事を知る。(A・B) (1) 昔から子どもが遊んでいた道具や遊び方、伝統的な行事を知る。 ・ 日常生活でなじみが薄い語彙が多いので、繰り返し語彙を提示する。 ・ 現段階で定着しない語彙については、名前を確かめる程度にとどめる。 (2) 伝統的な遊びや行事が、いつ、どのように行われているのかを知る。 日本には季節に応じた文化や行事があることを伝える。 (3) 遊び道具を使って、伝統的な遊びを体験する。 手軽にできる伝統的な遊び道具を用意しておく。
日本語 文字語彙文法 (10分)	4 日本語能力試験N5レベルの問題に取り組む。(A・B) (1) 文字(漢字)・語彙の問題を選択方式で解く。 ア 文章の中に当てはまる正しいことばを選ぶ。 イ 正しい漢字の読み方を選ぶ。 (2) 文節を並び替えて、正しい文をつくる。 多種・多様な語彙や表現、文法にできるだけ多くふれるように配慮する。 耳慣れしていない語彙は、繰り返し耳に入れるようにする。

(6) 評価

- ア 一億をこえる数を位に着目してよむことができたか。(学習用具)
- イ 相手や目的に応じて言葉遣いが違うことがわかったか。(生活・文化)
- ウ 日本の伝統的な遊び道具や遊び方、行事を知ることができたか。(言語知識)
- エ 日本語能力試験(言語知識) N5レベルの問題が解けたか。(聴解)